

未来を見つめる福生



(ほたるまつり)

自然を大切にするまち



多摩川の河原

東京都の西部に位置する本市には、多摩川をはじめ、玉川上水、分水や湧水とその周辺や河岸段丘などに現存する自然林など、長い歴史をとおして形づくられた風土があります。私たちの生活環境を緑につつまれた住みよいものにするためには、努めてこれらの自然を緑地として保全していく必要があります。

既成市街地における緑化も積極的にすすめる一方、公園施設などとの調和を図りながら新しい緑地の形成に向けて努力を重ねています。

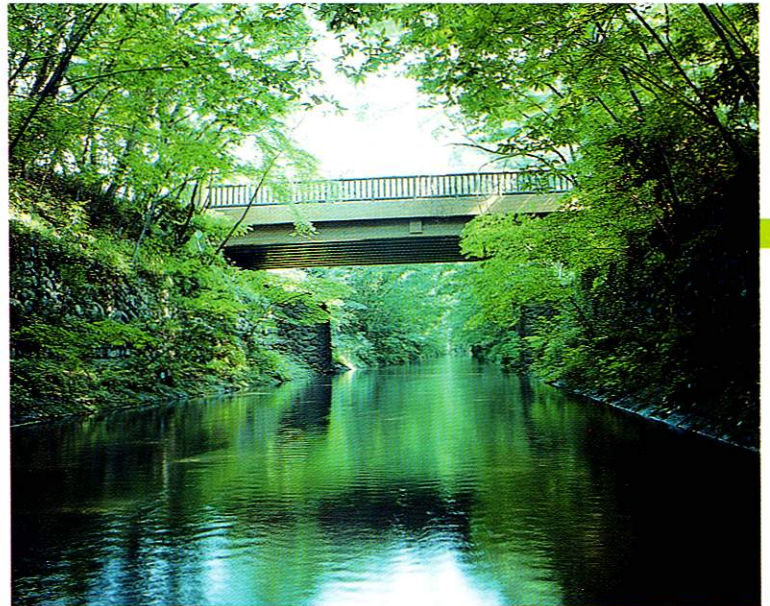
ABUNDANT NATURE

Fussa is located in the western part of Tokyo, and has been blessed with abundant running water and green areas.

It is important for comfortable living to preserve this natural environment.

We will positively continue planting trees in the towns and make efforts to create new green zones and parks.

玉川上水

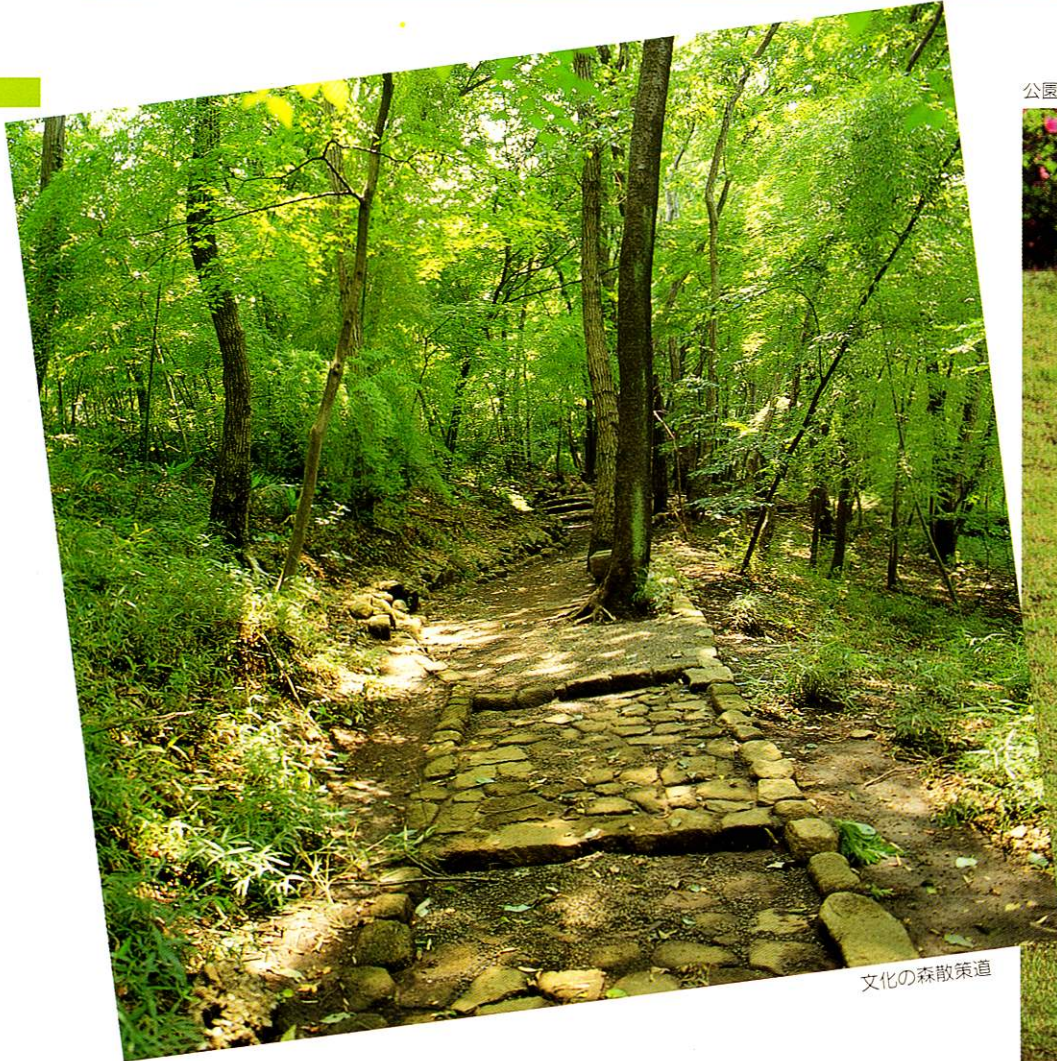


文化の森の池





南公園



文化の森散策道

公園での母と子



公園の基準確保と適正配置

本市は、国の都市公園基準である市民一人当たり6平方メートルの公園確保を目標に整備をすすめています。

公園は、単なる憩いの場だけでなく、その有機的な配置は災害時の避難場所としても重要な役割を担います。



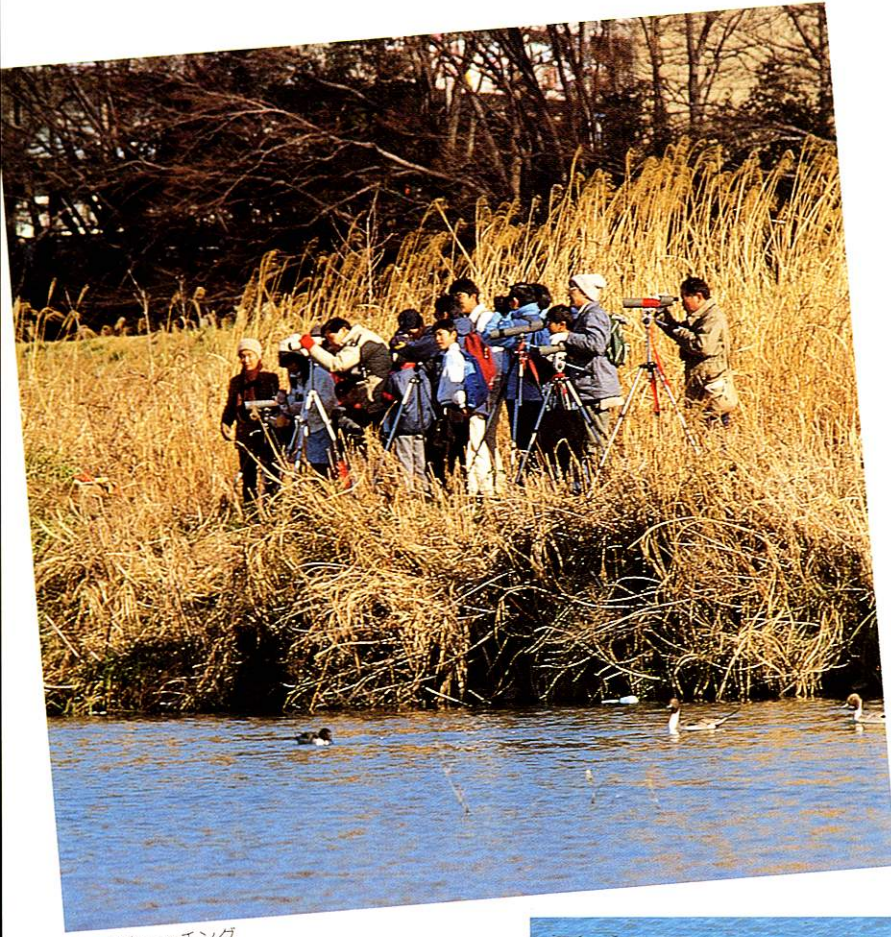
緑のネットワークづくり

都市化の中で次第に失われつつある自然緑地を、貴重な空間として後世に残すため、玉川上水周辺の自然林や湧水などの総合的な保全に努めています。こうした市内の公園や緑地を結ぶ「緑のネットワーク」づくりは、将来にわたっての重要な課題です。



積極的な緑化の推進を

残された緑を守るだけではなく、市では苗木の育成、公共施設への植樹、街路緑化などのほか、市民の協力を得て立木の保全や生け垣などの普及と指定を図り緑化を促進しています。



バードウォッチング



多摩川の夕日

